国語

国語Ａ

番号	設問	設問の概要・趣旨	正答率％	
			本校	全国
①	１	主語に合わせて述語の部分を正しく書き直す	６０	４９
	８四	意味は変えずに主語を変えて書き換える	８６	８０
②	２一	スピーチの工夫の効果として適切なものを選択する	８２	７６
	２二	スピーチの特徴の説明として適切な物を選択する	９３	８８
③	３一	本文の展開に即して内容をとらえる	９４	９０
	３二	本文の表現の仕方や特徴に注意して内容を正確に読み取る	９２	８５
	３三	〃	９２	８４
④	７一	短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ	２９	２９
	７二	短歌について書かれた文章の空欄に適切な語句をいれる	９０	８４
	７三	短歌の内容について適切なものを選択する	８５	７８
	８五１	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す	８２	７６
	８五２	徒然草の中の語句の訳を抜き出す「よしなしごと」	７３	６５
⑤	８－１	漢字を書く「世界いさん」	７２	７５
	８－２	「じしゃく」	８８	８４
	８－３	「燃料をおぎなう」	５５	５４
	８二１	漢字を読む「抵抗」	９９	９８
	８二２	「伴奏」	９３	８４
	８二３	「迫る」	９５	９１
⑥	８三ア	適切な語句の選択　「もどかしい」	５５	４９
	８三イ	「ならわし」	７４	７１
	８三エ	適切な同音異義語の選択「機関」	８１	７５
	８三カ	「祝辞」	７４	７２
	８七	国語辞典で調べたことをもとに語句の意味を書く	７７	６７
	８八	国語辞典の説明からわかることを選択する	８６	８０

国語Ｂ

番号	設問	設問の概要・趣旨	正答率％	
			本校	全国
⑦	１－ｱｲ	書かれている内容をとらえ資料に基づいて自分の考えを説明する	７８	８０
	１三ア	資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる	６０	５９
	１三イ	〃	８０	７７
	２二	文章から必要な情報を読み取り簡潔にまとめて書く	７６	６６

分析と改善点

全体的に見ると、どの項目もほとんど東京都平均・全国平均を上回っており良い結果と思われるが、今後さらに向上させるために、いくつかの設問について分析と改善点を考察してみる。

番号	分　　析	改　　善　　点
①	主語と述語がねじれるというのは、感想・創作・要旨など文章の種類にかかわらず、よく見る傾向である。	作文指導の時に、内容の善し悪しだけでなく、文の書き方についても基本を抑えるよう指導していく。
②	スピーチについて１年次から学期ごとに取り組んでいる成果が多少表れている。	テーマを工夫しつつこれからも取り組んでいく
③	この３項目だけでなく、内容の読み取りに関する項目については全体的によくできている。	さらに読解力が高まるよう、授業でも意識して読み取りに取り組むほか、読書を勧めたり、新聞を活用したりする。
④	７一の短歌の形式に関する設問の正答率がかなり低いが、まだ短歌について学習していないのでやむをえない。その他の短歌や古典に関する設問に関してはそれなりにできている。	古典教材は多くないが、音読・朗読や想像力を駆使して内容を読み取ることを重視し、歴史や文化への関心を高めるきっかけにもしたい。
⑤	読みはよくできているが、書き取りが不十分である。	読解などがよくできる割に漢字が弱いというのは、長年続いた傾向である。そのため、授業で毎時間漢字に取り組む他、小テストを頻繁にやったり、朝学習でも取り組んでいるのも関わらず、なかなか成果が上がらない。これからも、漢字力の向上をめざして、地道に取り組んでいく。
⑥	語彙が豊富ではない。	国語辞典は積極的に使うようにしているが、全体的に語彙や、語句についての知識が貧弱である。教材を扱うときに内容の読み取りに力を入れるだけでなく、語句の意味や使い方も意識的に指導するとともに、読書・新聞の活用をすすめる。
⑦	資料や文章の内容を読み取った後、それを応用して表現する力が弱い。	資料を基に説明文を書いたり、口頭で説明する機会を設けたり、資料を基に自分の考えをまとめてスピーチするなどを取り入れていきたい。